

## 第3回例会 京都新聞社本社見学

日時 2015年11月25日 10時30分～11時30分

見学先 京都新聞社本社（編集局、印刷工場）京都市中京区烏丸丸太町下ル）要事前予約

参加者 14名

最初に、見学者用の集会室で「京都新聞ができるまで」をDVD鑑賞したのち担当の女性職員から概要説明があった。

- ・京都新聞社の社是。
- ・1879年(明治12)に始まる歴史。
- ・社員は以前1400人いたが機械化に伴い現在では515人になったこと。
- ・近々本社内に一部残っていた印刷工場が閉鎖されて、最新設備を備えた新工場（久御山）にすべて移転すること、デジタル配信で迅速に対応が可能となったこと。
- ・1時間で20万部の印刷ができること、輸送・販売システムなどをお聞きしました。
- ・また、20年前の阪神大震災時では、甚大な被害にあった神戸新聞社を紙面製作で応援されたことや災害時用に自家発電装置も整備されていることに改めて新聞社の社会的使命を実感しました。

この後、編集局室へ。記者のみなさんは外勤中ということで人影はありませんでした。広いワンフロアの編集局室はきれいに整理整頓され、掃除も行き届き、机の周辺もきれいで想像していた“雑然感”は全くありませんでした。これには驚きました(失礼)。この静けさも午後になるとデスク会議などでにぎやかになるということでした。

大きな機械の立ち並ぶ印刷工場はスイッチが入る前の静けさというのでしょうか深閑としていました。新聞社といえば、小さな活字を組み合わせて版組していたイメージが脳裏にあるので、CTPシステムでアルミの刷板が出来上がっていくなどと聞くと隔世の感がある！という感想を強く持った方も多かったようです。

パソコンの普及などで若い人たちの新聞離れが進んでいることから、新聞社もなかなか内情は厳しいようですが、社是の通り「正義を守る、自由を守る、真実を守る」の高い志を発揮して身近な地元紙として京都、滋賀のために頑張ってもらいたいと願いながら見学を終えました。参加者一同、小学生に戻ったようなワクワク感を覚える社会見学でした。社内で記念撮影した集合写真は翌日の京都新聞朝刊に掲載されました。

見学会の後は、近くのレストラン太田屋で昼食を兼ねて、支部としての活動を行いました。つくば国際会議場で10月に開催されたJAUW公開全国セミナーに参加された方から報告がありました。

いつもながら和気あいあいと親睦を深める充実した会合となりました。

京都新聞会社見学記念  
2015年11月25日

